

2015年12月23日

環境教育インストラクター養成セミナー

(かながわ環境カウンセラー協議会)

報告書

KECA 環境教育委員会

岡本正義

- 開催日：2015年11月28日(土)、29日(日)
- 時間：第1日目10時～17時、第2日目9時20分～15時
- 会場：かながわ県民センター 303号室ほか
- 主催：NPO法人環境カウンセラー全国連合会(略称 ECU)
NPO法人かながわ環境カウンセラー協議会(略称 KECA)
後援：環境省 関東地方環境事務所
神奈川県
- 参加者：16名(首都圏(東京、神奈川、埼玉)13名、北海道、長野、山梨各1名)
- 修了者：16名

【セミナー内容】

- 第1日目(11月28日、10時～17時)

司会進行： KECA 環境教育委員会 副委員長 日吉 栄一

1. 主催者挨拶

- (1) 環境カウンセラー全国連合会 理事長 佐々木 進市氏
- (2) かながわ環境カウンセラー協議会 理事長 河野 健三

2. 講義

- (1) 総論1 最近の環境行政の主な動向・E S D
環境省 関東地方環境事務所環境対策課 課長 平野 寛人氏
- (2) 総論2 環境カウンセラーが見た最近の環境問題
NPO法人かながわ環境カウンセラー協議会
副理事長 大竹 順之
- (3) 各論1 環境教育の場と安全教育
NPO法人かながわ環境カウンセラー協議会環境教育委員会
委員 嶋田 和夫
環境教育実践事例(1)〈地域での環境教育・幼児/小中学生/市民〉
NPO法人かながわ環境カウンセラー協議会環境教育委員会
委員 高橋弘二
環境教育実践例(2)〈森林の環境教育〉
NPO法人かながわ環境カウンセラー協議会環境教育委員会
委員 田中真次
.....(昼食・休憩：12時40分～13時40分).....
- (4) 各論2 環境教育を行う上での要点
環境教育実践事例(3)〈県全域小中学校〉
NPO法人かながわ環境カウンセラー協議会環境教育委員会
委員長 岡本 正義

3. ワークショップ

(1) ワークショップ (WS) 実施要領の説明

NPO 法人かながわ環境カウンセラー協議会環境教育委員会委員 日吉 栄一

[グループ分け：WSのキーワード]

A1 グループ：地球環境・生活環境系

「地球温暖化」「再生可能エネルギー」「ごみと3R」等

A2 グループ：環境経営・事業者教育系

「環境マネジメント」「ISO14001」等

B グループ：自然環境系

「身近な自然」「生物多様性」「川・海・緑」等

※事前通知

①参加者全員宛て、セミナー2週間前にワークショップ実施要領についてメール発信し、自分の専門（得意）分野を決め、「環境教育実施計画書」、「自然体験実施計画書」の構想を準備してくるよう連絡した。

②第1日目受付時、A、Bいずれのグループを希望するか再確認してもらった。

(2) ワークショップ

①目的：本日の宿題とする私の「環境教育実施計画書」、「自然体験実施計画書」を作成するにあたり、グループで「共通テーマ」を決めて、参加者で話し合い実施計画書作成のプロセスを体験し、実施計画書モデルを作成する。

②届け出では、A-1グループ6名、A-2グループ5名、Bグループ6名であり、人数バランスが取れていた。

・A-1グループ（6名、コーディネーター：岡本、大野）＝705号室

・A-2グループ（5名、コーディネーター：三島、齋藤、嶋田）＝705号室

・Bグループ（6名、コーディネーター：高橋、大竹、田中）＝709号室

③各グループとも、時間（17時）いっぱい熱心な意見交換が行われた。

④翌日受付時に宿題：私の「環境教育実施計画書または自然体験実施計画書」を提出してもらうことを再確認して、第1日目を終了し解散した。

□ 第2日目（11月29日、9時20分～15時）

朝の受付時に宿題 私の「環境教育実施計画書または自然体験実施計画書」を提出してもらい、各グループ全員に配布する必要部数をコピーした。

1. 講義 各論3

環境教育実践事例（4）企業における環境教育〈事業者対象〉

NPO 法人かながわ環境カウンセラー協議会環境教育委員会

委員 三島 通世

2. 【コーヒーブレイク：参加者交流会（709号室）】

北海道、長野、山梨、東京、埼玉などの神奈川県外からの参加者が多い（半数の7名）こともあり、コピーができるまでの時間を使って約40分間の参加者交流会の時間を設けた。

・飲み物：緑茶、ウーロン茶、ジュース（オレンジ、リンゴ）

・クッキー、煎餅などのお菓子

当初ごちなかつたが、すぐにあちこちで2人ずつあるいは3人グループでFace to Faceの意見・情報交換の場ができ、40分で打ち切るのがもったいないような雰囲気だった。みなさん、この後の模擬授業にリラックスして臨めたのではないかと思います。

3. グループごとの模擬授業

3グループに分かれ「環境教育実施計画書または自然体験実施計画書」「評価シート」のコピーを配布して、一人ずつ「模擬授業」を実施した（Aグループ、Bグループとも一人、10～15分）。

全体の概要を話すのではなく、授業プログラムの一部で一番話したいこと、伝えたいことに絞って、講師になった積りで話してもらった。他の人は講師（発表者）が想定する年代（小中学生、高校生、市民・・・）になって話を聞き、質問してもらった。その後、講師としてのやり方、内容等に対して、アドバイス、意見などが話し合われた。

全員の発表後、各グループごとに午後のデモンストレーション授業を行う代表1名を選出した。
・・・・・・・・・・（昼食・休憩：12時10分～13時）・・・・・・・・・・

4. 各グループ代表の模擬授業

A-1、A-2、Bの順で各代表3名が発表した。

- (1) 藤野年喜さん（中央区）「省資源・リサイクルについて考えよう」 対象：小学生
ペットボトルの分別を通して、缶、紙、可燃物、不燃物等の分別ができるようにすることを目標として、ペットボトルを使った分別方法の体験を行い、家族との環境談義を宿題として、報告書を提出してもらった模擬授業を実施した。
- (2) 中山知佳子さん（藤沢市）「マンションのごみ出しを考えよう」 対象：マンション住民
牛乳パックの回収を例としてごみ出しの仕方を説明した。
- (3) 角田昌司さん（小田原市）「身近な鳥：ツバメの観察」 対象：親子
ツバメの観察会を想定して、最初に地元で観察できる3種類のツバメとそれぞれの巣を写真で見せて、違いを理解する。また、ハイテク機器を使って鳴き声（虫食って土食って、しぶーい）を聞いてもらった後に、野外に出て観察会を行うことを紹介した。帰って来てから折り紙でツバメを折り、飛ばしてみようとした。

*今回の代表3名の方は、すでに地元（学校）で環境学習を実践している人もいたようで、講師（先生）になりきって、準備した写真や持っていた機材を駆使して、手振りも鮮やかに大変分かりやすく、すばらしい模擬授業を行った。

*参加者の中には「すでに実践している」「できればすぐに実践したい」という人がいて、模擬授業は大変役に立った、ワークショップと模擬授業こそがメインであり、模擬授業は続けてくださいとのコメントもあり、かながわの養成セミナーの主目的である実践力を付けるセミナーの狙いは、達成されたと考える。

*各発表の後、それぞれのコーディネーターから講評、アドバイスがあった。

5. ECU環境教育インストラクター資格認定手続き説明： KECA環境教育会委員（日吉）

6. 養成セミナー修了証の授与

ECU理事 河野健三 KECA理事長から一人ずつに修了証を手渡した。

7. アンケート記入・提出

個別質問・相談

====15時終了、解散====

アンケート結果も踏まえて本セミナーの総括

- (1) 遠く北海道、長野をはじめ東京、埼玉などの地元神奈川以外からの参加者も多く、参加者の積極的な姿勢もあり、有効なセミナーが開催できた。
- (2) 参加者の参加動機は、資格取得が16人中11人と最も多く、セミナーの本来の目的である環境教育インストラクター資格認定取得を目指す人が多かった。
- (3) KECAのインストラクター養成セミナーは、実践事例を多く紹介し、ワークショップに引

き続き模擬授業を参加者に行って頂き、企画・立案力に加えて実践力を高めるセミナーを特徴としている。参加者のアンケートからも模擬授業は良かった、分かりやすかった、どのように実践していくかを考える機会になったなど大変好評であった。ワークショップは、初級編、プレゼン編に分けたらどうか、講師陣の模擬授業を多くして欲しい、野外でも実施して欲しい、初参加で進め方に理解できない面があったなどの声も聞こえて次回への検討課題としたい。

- (3) 40分と短い時間であるが、茶菓を用意して「参加者交流会」を開き、参加者同士あるいはKECAメンバーとの交流・懇親ができた。人脈づくりの一助ともなった。
- (4) グループ代表による模擬授業は、レベルが高かった。プログラム全体を長々と説明せず、ある切り口を取り出し簡潔に、且つ分かり易く授業することが出来ていた。
- (5) 参加者の評価は、内容は16人中15人から、テーマは14人から満足の評価を頂いた。進め方については、良かったが11人、まあまあ良かったが5人いたので、もう一度振り返って運営について見直しをしたい。
- (6) 受講料(7,000円、エコピーブルの人は5,600円)は16人中15人の参加者から妥当との回答を頂いた。これは受講料に見合ったセミナーであったことの証左であろう。
- (7) 会場(かながわ県民センター)は横浜駅から近くで遠方の方にも交通の便が良く、好評であったが、役所の規則で暖房は12月からということで、暖房が入らず寒くて難儀した。参加者からも苦情が出た。また、会議室の移動をもっと少なくして欲しいとの要望もあった。次回へ向けて、寒さ対策、あるいは開催時期を考える、会議室の確保にも工夫が必要である。
- (8) 今回のセミナーは、会議室の寒さ以外には、トラブルは全く無く、内容も参加者には十分満足して頂いたと考える。これは、KECA環境教育委員会のメンバーが日吉リーダーの下、一致団結して集客、事前準備、当日の運営を行うとともに講師陣が知恵を絞って講演内容をブラッシュアップした成果と考える。
- (9) セミナーの名称について、インストラクター養成セミナーではなく、インストラクター応募資格取得セミナーに名称を変更するよう佐々木ECU理事長からコメントがあった。次回から変更するようにしたい。

セミナースナップ写真を掲載します。

平成27年度環境教育インストラクター養成セミナー(11月28日、29日)

写 真 集

1. 挨拶



写真1 ECU 佐々木理事長挨拶



写真2 KECA 河野理事長が KECA の活動紹介

2. 講義



写真3 関東地方環境事務所
平野対策課長の講義



写真6 実践事例(1)の講義 (高橋講師)



写真9 実践事例(4)の講義 (三島講師)

4. ワークショップ



写真10 A-1グループ



写真11 A-2グループ



写真12 Bグループ

3. 実践事例の講義



写真4 最近の環境問題の講義 (大竹講師)



写真5 安全対策の講義 (鳴田講師)



写真7 実践事例(2)の講義 (田中講師)



写真8 実践事例(3)の講義 (岡本講師)

5. 参加者交流会 写真 13



6. グループ代表の模擬授業



写真 14A-1 グループ：藤野さん

写真 15A-2 グループ：中山さん

写真 16 Bグループ 角田さん

7. ECU 環境教育インストラクター資格
認定手続き説明 写真 17



8. 修了証の授与 写真 18



報告者：KECA 環境教育委員会委員長
岡本正義